

施策評価調書(1)

評価対象年度 令和3年度

めざす姿	IV 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち”
施策名	1 豊かな水と緑に親しめる空間の創出
施策関係課	(建設部)建設管理課・公園課／(都市計画部)みどり課・赤山歴史自然公園整備室

●施策の基本方針(目標)	
本市に広がる貴重で豊かな自然環境を守り、市民が自然を身近に感じながら生活できるよう、水と緑に親しめる憩いとやすらぎの空間を創出します。	

●目標指標							
指標①	名称	この施策の推進が図られていると感じる人の割合(市民意識調査:IV-1)				単位	%
	目標値	現状値を上回る(令和7年度)		現状値	51.7(令和2年度)	指標の種別	成果
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	実績値	51.000	0.000				
指標②	名称	親水護岸の整備延長				単位	m
	目標値	3,240(令和7年度)		現状値	2,110(令和元年度)	指標の種別	活動
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	実績値	2,172.000	0.000				
指標③	名称	保全すべき緑地の確保				単位	m ²
	目標値	200,000.00(令和7年度)		現状値	185,003.32(令和元年度)	指標の種別	結果
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	実績値	182,190.080	0.000				
指標④	名称					単位	
	目標値			現状値		指標の種別	
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	実績値						
指標⑤	名称					単位	
	目標値			現状値		指標の種別	
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	実績値						

	(単位:千円)	令和3年度決算額	令和4年度予算額	令和5年度計画額	令和6年度計画額	令和7年度計画額
事業額	事業費	3,299,709	1,867,443	770,882	0	0
	概算人件費	158,474	101,923	98,073	0	0
	総事業費	3,458,183	1,969,366	868,955	0	0

*前年度に「完了」「休止」「廃止」となった事業額についても合算されています。

総合評価	評価結果	単位施策ごとの評価結果			総合評価の区分
	B	単位施策① 54	単位施策② 55	単位施策③	結果(平均値)が55以上:A 結果(平均値)が50以上55未満:B 結果(平均値)が40以上50未満:C 結果(平均値)が40未満:D
	(前回評価結果)	単位施策④	単位施策⑤	結果(平均値)	
	B			54.5	

施策評価調書(2)

評価対象年度	令和3年度
--------	-------

施策を構成する実施計画事業の状況

(単位:千円)

単位施策名 ① 水辺環境の整備								
事業名称	担当課	令和3年度 事業費 (決算額)	令和4年度 事業費 (予算額)	令和5年度 事業費 (計画額)	令和6年度 事業費 (計画額)	令和7年度 事業費 (計画額)	令和3年度の 総評価	令和4年度の 実施方向性
		概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費		
芝川緑化期成同盟会補助金	建設部	877	1,000	1,000	0	0	54	現状維持で実施
	建設管理課	1,817	1,309	1,309	0	0		

単位施策名 ② 緑地環境の整備								
事業名称	担当課	令和3年度 事業費 (決算額)	令和4年度 事業費 (予算額)	令和5年度 事業費 (計画額)	令和6年度 事業費 (計画額)	令和7年度 事業費 (計画額)	令和3年度の 総評価	令和4年度の 実施方向性
		概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費		
沼田公園整備事業	建設部	51,996	520,000	—	—	—	54	拡充して実施
	公園課	3,950	3,850	—	—	—		
緑地保全事業	都市計画部	21,646	19,317	0	0	0	56	現状維持で実施
	みどり課	31,600	30,800	30,800	0	0		
保全緑地等公有地化事業	都市計画部	38,628	211,676	14,346	0	0	56	現状維持で実施
	みどり課	7,900	7,700	7,700	0	0		
赤山歴史自然公園整備事業	都市計画部	2,760,146	408,438	84,882	—	—	58	現状維持で実施
	赤山歴史自然公園整備室	55,458	32,417	32,417	—	—		
都市公園指定管理者管理費	建設部	347,637	347,637	347,637	0	0	56	現状維持で実施
	公園課	1,580	1,540	1,540	0	0		
荒川運動公園施設運営費	建設部	14,173	39,243	39,875	0	0	50	現状維持で実施
	公園課	8,374	8,162	8,162	0	0		
公園等公有地化事業	建設部	46,176	295,006	283,142	0	0	52	拡充して実施
	公園課	1,975	1,925	1,925	0	0		
緑化推進事業	都市計画部	12,234	25,126	0	0	0	54	現状維持で実施
	みどり課	14,220	14,220	14,220	0	0		
特定生産緑地地区指定検討事業	都市計画部	6,196	0	0	0	0	56	他事業に統合されて実施
	みどり課	31,600	0	0	0	0		

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和3年度

事業名称	芝川緑化期成同盟会補助金			担当	建設部 建設管理課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	33-5213	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和	52	年度	～	年度
第5次川口市総合計画	IV 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち”-1 豊かな水と緑に親しめる空間の創出-① 水辺環境の整備				
根拠法令等	芝川緑化期成同盟会補助金交付要綱				

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	芝川緑化期成同盟会	旧芝川周辺を利用する市民等	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	行政による河川環境整備に加え、地域住民の理解と協力を得ながら旧芝川の緑化整備を促進し、もって川口市の都市環境改善に寄与することを目的とする。	緑化事業及び県への要望活動等に対して経費の一部を補助する。	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果[定性的評価]	
	・要望活動・植栽	旧芝川の緑化整備が促進されたこと及び県の整備事業等の進捗により、都市環境の改善に貢献した。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	旧芝川河川敷に植栽した株数			指標・目標値の説明(算定式)	毎年度樹木等の価格変動を反映して設定している。				
	単位	株	指標の種別	活動		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標値	550.00		200.00		336.00		0.00		0.00
	実績値・達成状況	550.00	達成	200.00	達成	336.00	達成			
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標値									
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	8 款	1 項	1 目	4 細目	1 細々目	芝川緑化期成同盟会補助金			
年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度		令和4年度	令和5年度			
予算額(A)	1,000	1,000		1,000		1,000	1,000			
決算額(B)=(C)+(D)	1,000	628		877						
財源※	特定財源(C)	0		0		0	0			
	一般財源(D)	1,000		628		877	1,000			
概算人件費(E)	3,160		2,133		1,817		1,309		1,309	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.40	0.00	0.27	0.00	0.23	0.00	0.17	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	4,160		2,761		2,694		2,309		2,309	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
54 /60	会員及び事業費が年々減少する中、事業をどのように継続していくかが課題である。芝川の緑化整備は進んでいるが、なお一層の促進を求める声は大きい。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和3年度

事業名称	沼田公園整備事業				担当	建設部 公園課
事業区分	主要事業	政策宣言	問い合わせ先	048-242-6339	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	令和 元 年度 ~ 令和 4 年度
第5次川口市総合計画	IV 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち”-1 豊かな水と緑に親しめる空間の創出-② 緑地環境の整備
根拠法令等	都市公園法

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	公園利用者	公園利用者	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	隣接する第2沼田公園と一体的に防災機能を備えた公園として整備を行う方針であり、災害時に周辺住民が避難できる場を提供し、平常時は市民の憩い場を創出する。	・旧鳩ヶ谷市民プール解体工事・旧鳩ヶ谷市民プール解体設計業務委託・沼田公園実施設計委託・沼田公園用地測量委託・沼田公園整地工事・沼田公園整備工事	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	沼田公園の雨水排水設備や外柵設置工事を実施するとともに、管理棟建設に向けた詳細設計を行った。	公園内の排水施設や外柵の設置、また、管理棟建設に向けた詳細設計を実施できた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標値								
	実績値・達成状況								
指標②	名称			指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標値								
	実績値・達成状況								

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	8 款	4 項	5 目	1 細目	1 細々目	沼田公園整備事業			
年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度		令和4年度	令和5年度			
予算額(A)	9,762	224,721		55,766		520,000	10,110			
決算額(B)=(C)+(D)	9,460	201,682		51,996						
財源※	特定財源(C)	0		0		0	285,000			
	一般財源(D)	9,460	201,682		51,996		235,000			
概算人件費(E)	3,950	3,950		3,950		3,850	3,850			
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.50	0.00	0.50	0.00	0.50	0.00	0.50	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	13,410	205,632		55,946		523,850	13,960			

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
54 /60	順調に事業を進めている	翌年度	拡充して実施
		翌々年度	完了

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和3年度

事業名称	緑地保全事業			担当	都市計画部 みどり課	
事業区分	主要事業	その他	問い合わせ先	048-242-5721	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和	59	年度	～	年度
第5次川口市総合計画	IV 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち”-1 豊かな水と緑に親しめる空間の創出-② 緑地環境の整備				
根拠法令等	川口市緑のまちづくり推進条例、同施行規則				

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	市条例に基づき指定した保全緑地、保存樹木等の所有者又は管理者。自然再生活動登録団体。	市条例に基づき指定した保全緑地、保存樹木等の所有者又は管理者。自然再生活動登録団体。市民。	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	近年の都市化の進展に伴い、樹林地をはじめとする身近な緑が失われつつあるなか、市内に残る身近な緑(樹木、樹林地等)を保全し、緑豊かな都市環境の形成及び自然と共生する社会の実現を図ることを目的としている。	緑の保全のため、保全緑地等の指定と奨励金や管理経費補助金の支給。公有地においては、建設部公園課の協力のもと、樹木の剪定、伐採等を行うと共に、協力団体に管理費用の一部を補助するなどして維持管理を行っている。	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	市条例に基づき指定した保全緑地、保存樹木等の所有者又は管理者に対し、奨励金を支給した。申請を随時受付し、剪定費用の補助として、管理経費補助金を保全緑地については30万、保存樹木については10万(生け垣については3万)を上限として支給した。	公有地等で緑地の管理を行っている自然再生活動団体に対し助成金を支給し、適正管理活動により良好な緑地空間の形成が図られた。保存樹木等管理経費補助制度については、10件の申請があり、適正な緑地等の管理が図られた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	保存樹木等管理経費補助制度			指標・目標値の説明(算定式)	市条例に基づき指定した保存樹木等の所有者又は管理者からの申請件数				
	単位	件	指標の種別	結果						
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度	令和4年度		令和5年度	
実績値・達成状況	10.00		10.00		10.00	10.00		0.00		
実績値・達成状況	7.00	未達成	10.00	達成	10.00	達成				
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位									
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度	令和4年度		令和5年度	
実績値・達成状況										

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	8 款	4 項	7 目	3 細目	1 細々目	緑地保全事業			
年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度		令和4年度	令和5年度			
予算額(A)	18,991	20,791		22,402		19,317	0			
決算額(B)=(C)+(D)	16,296	17,533		21,646						
財源※	特定財源(C)	3,847	3,709		2,054		2,062			
	一般財源(D)	12,449	13,824		19,592		17,255			
概算人件費(E)	31,600	31,600		31,600		30,800		30,800		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	4.00	0.00	4.00	0.00	4.00	0.00	4.00	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	47,896	49,133		53,246		50,117		30,800		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	どちらともいえない	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
56 /60	自然再生活動団体助成制度については、団体の活動範囲の増大や活動内容等の更なる充実が図られている状況下において、従来助成額では十分な自然再生活動を行うことが難しくなるという事態が発生していたため、要綱の見直しにより、令和4年度以降の助成額拡充を行った。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和3年度

事業名称	保全緑地等公有地化事業				担当	都市計画部 みどり課	
事業区分	主要事業	その他	問い合わせ先	048-242-5721	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	令和 2 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	IV 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち”-1 豊かな水と緑に親しめる空間の創出-② 緑地環境の整備
根拠法令等	川口市緑のまちづくり推進条例、川口市緑の基本計画

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	土地所有者、市民	市民	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	市内に残る貴重な緑は、市条例により保全しているが、相続に伴う開発などにより年々減少している。緑は、人々に潤いとやすらぎをもたらす、美しく、住みよいまちづくりに寄与するものであり、必要に応じて公有地化を図っていく必要がある。	特に重要な緑地を永続的に保全するため、公有地化を図る。	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	安行赤堀用水沿い斜面林保全緑地の一部について、測量および公有地化を行った。東内野前町東保全緑地の一部について、公有地化に向けた測量を行った。	安行赤堀用水沿い斜面林保全緑地の一部について公有地化を行い、地域における貴重な緑の景観資源を保全することができた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標値								
	実績値・達成状況								
指標②	名称			指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標値								
	実績値・達成状況								

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	8 款	4 項	7 目	6 細目	1 細々目	保全緑地等公有地化事業			
年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度		令和4年度	令和5年度			
予算額(A)	0	13,871		38,629		211,676	14,346			
決算額(B)=(C)+(D)	0	13,090		38,628						
財源※	特定財源(C)	0		25,962		201,174				
	一般財源(D)	13,090		12,666		10,502				
概算人件費(E)	0		7,900		7,900	7,700	7,700			
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.00	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	0		20,990		46,528	219,376	22,046			

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策		今後の実施方向性	
56 /60	将来の公有地化後、人が立ち入る前提で管理を行うことを踏まえ、保全緑地の効率的な管理方法等について、コスト面の分析も含め今後も調査検討していく。安行近郊緑地保全区域および安行武南自然公園区域における公有地化対象候補地等の検討調査を行うほか、併せて公有地化のため、財源確保の検討をすすめる。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和3年度

事業名称	赤山歴史自然公園整備事業				担当	都市計画部	
事業区分	主要事業	政策宣言	問い合わせ先	048-242-6341	新規・継続	継続	
						赤山歴史自然公園整備室	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	24	年度	～	令和	5	年度
第5次川口市総合計画	IV 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち”-1 豊かな水と緑に親しめる空間の創出-② 緑地環境の整備						
根拠法令等	都市計画法、都市公園法、景観法、川口市都市公園条例等						

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	直営		
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)			受益者(最終的に受益を受ける人)		
	市民等(地域住民、公園・ハイウェイオアシス利用者)			市民等(地域住民、公園・ハイウェイオアシス利用者)		
事業の概要	事業の目的(何のために)			事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	豊かな自然環境や歴史・文化遺産を活用し、さらに、広域的な利用集客を促進するため首都高速(株)との事業連携によりハイウェイオアシス化を図ることで、地域の振興と農業の活性化にも資する公園を整備し、人と人とが交流するにぎわいあるまちづくりを進める。			・イナパーク川口の整備		
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)			事業の成果【定性的評価】		
	園路整備、植栽、休養施設整備、屋外遊具整備、管理施設等整備、排水設備、給水設備、園路照明、便益施設整備、駐車場整備、公衆トイレ建築、東側道路整備、周遊路整備、区域外駐車場整備、サイン類設置等工事(令和3年度予定箇所完了)			整備面積について、令和3年度の目標8.5haに対し、本年度の実施内容が予定どおり完了したため、実績も8.5haであった。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	公園整備面積			指標・目標値の説明(算定式)	イナパーク川口の整備予定面積8.9haに対する整備状況。				
	単位	ha	指標の種別	結果						
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度
	実績値・達成状況	4.70		達成		6.30		達成		8.50
指標②	名称	周辺整備面積			指標・目標値の説明(算定式)	イナパーク川口の周辺整備予定面積0.1haに対する整備状況。				
	単位	ha	指標の種別	結果						
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度
	実績値・達成状況	0.00		—		0.00		—		0.06

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	8 款	4 項	6 目	2 細目	1 細々目	赤山歴史自然公園整備事業					
年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度				
予算額(A)	689,663	1,334,430		2,854,783		408,438		84,882				
決算額(B)=(C)+(D)	328,557	816,890		2,760,146								
財源※	特定財源(C)	173,103	359,594		1,985,679		171,003					
	一般財源(D)	155,454	457,296		774,467		237,435					
概算人件費(E)	47,005	54,036		55,458		32,417		32,417				
従事職員人数(人)	常勤	再任用	5.95	0.00	6.84	0.00	7.02	0.00	4.21	0.00	4.21	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	375,562		870,926		2,815,604		440,855		117,299			

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策		今後の実施方向性	
58 /60	事業の全体計画に基づき、工事行程や工事内容を詳細に検討し、事業を進めてきた。今後は、令和4年度のハイウェイオアシス及び公園全体の開設を目指し事業を進める。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和3年度

事業名称	都市公園指定管理者管理費			担当	建設部 公園課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-242-6337	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 18 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	IV 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち”-1 豊かな水と緑に親しめる空間の創出-② 緑地環境の整備
根拠法令等	都市公園法、川口市都市公園条例

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	指定管理
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	(公財)川口市公園緑地公社(一社)川口市造園業協会	公園利用者	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	公園利用者に安心して快適に利用できる環境を提供する。	公園維持管理業務・樹木管理・除草・清掃・遊具点検・簡易な修繕	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	公園維持管理業務・樹木管理・除草・清掃・遊具点検・簡易な修繕等	公園利用者に安心して快適に利用できる環境を提供することができた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種類				
	目標値	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種類				
	目標値	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	8 款	4 項	4 目	2 細目	2 細々目	都市公園指定管理者管理費	
年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度
予算額(A)	323,489	327,590		347,637		347,637		347,637
決算額(B)=(C)+(D)	323,489	327,590		347,637				
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0
	一般財源(D)	323,489		327,590		347,637		347,637
概算人件費(E)		1,580		1,580		1,540		1,540
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.20	0.00	0.20	0.00	0.20	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	325,069		329,170		349,217		349,177	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市民との必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
56 /60	新型コロナウイルス感染症により、公園利用に対する安全性が求められており、公園利用者の安全性と快適な利用環境を引き続き整える必要がある。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和3年度

事業名称	荒川運動公園施設運営費			担当	建設部 公園課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-242-6337	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 29 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	IV 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち”-1 豊かな水と緑に親しめる空間の創出-② 緑地環境の整備
根拠法令等	都市公園法、川口市都市公園条例

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	市民全般	市民全般	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	市民が安心・安全に利用できる憩いの場として整備する。	施設維持管理業務・公園施設修繕・除草・トイレ管理・バーベキュー場運営委託	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	施設維持管理業務・公園施設修繕、除草、トイレ管理・バーベキュー場運営委託	地域住民が安全で快適に公園を利用することができ、地域のコミュニケーションの向上に寄与することができた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標値								
	実績値・達成状況								
指標②	名称			指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標値								
	実績値・達成状況								

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	8 款	4 項	4 目	2 細目	3 細々目	荒川運動公園施設運営費				
年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度		令和4年度	令和5年度				
予算額(A)	23,430	19,548		17,641		39,243	39,875				
決算額(B)=(C)+(D)	23,096	19,535		14,173							
財源※	特定財源(C)	23,096	19,535		3,372		31,187				
	一般財源(D)	0	0		10,801		8,056				
概算人件費(E)		8,374	8,374		8,374		8,162	8,162			
従事職員人数(人)		常勤	再任用	1.06	0.00	1.06	0.00	1.06	0.00	1.06	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		31,470		27,909		22,547	47,405	48,037			

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	どちらともいえない	11 /15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	どちらともいえない			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	どちらともいえない	11 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
50 /60	新型コロナウイルスの影響により、昨年度に引き続き、営業期間を短縮しており、営業を開始した後も利用者の減少傾向は続いている。徹底した新型コロナウイルス感染症対策を実施し、安全を確保したうえで利用者が快適に過ごせる環境を継続して整える必要がある。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和3年度

事業名称	公園等公有地化事業			担当	建設部 公園課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-242-6337	新規・継続	新規

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度	～	年度
第5次川口市総合計画	IV 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち”-1 豊かな水と緑に親しめる空間の創出-② 緑地環境の整備		
根拠法令等	都市公園法、川口市都市公園条例		

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	公園	公園利用者	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	現在、民地を一部借り上げて公園としている公園について、計画的に用地を購入し、公有地化したうえで、引き続き公園として活用するもの。	公園用地購入に伴い、測量委託等を行う。	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	・公園用地測量・公園用地購入	用地を恒常的に公園として使用することができるようになった。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種類				
	目標値	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種類				
	目標値	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	8 款	4 項	4 目	12 細目	1 細々目	公園等公有地化事業			
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度					
予算額(A)	0	0	46,300	295,006	283,142					
決算額(B)=(C)+(D)	0	0	46,176							
財源※	特定財源(C)	0	0	0	0					
	一般財源(D)	0	0	46,176	295,006					
概算人件費(E)	0	0	1,975	1,925	1,925					
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00	0.25	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	0	0	48,151	296,931	285,067					

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	どちらともいえない	11 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
52 /60	借地公園はまだ他にも残っており、引き続き計画的に用地購入の交渉を行っていく必要がある。	翌年度 拡充して実施 翌々年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和3年度

事業名称	緑化推進事業			担当	都市計画部 みどり課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-242-6335	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和	48	年度	～	年度
第5次川口市総合計画	IV 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち”-1 豊かな水と緑に親しめる空間の創出-② 緑地環境の整備				
根拠法令等	川口市緑のまちづくり推進条例、同施行規則、川口市緑の基本計画				

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	一部委託		
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)			受益者(最終的に受益を受ける人)		
	市民、市民ボランティア、事業者			市民、市民ボランティア、事業者		
事業の概要	事業の目的(何のために)			事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)		
	市民、事業者、行政が一体となって緑の創出に取組み、緑豊かな潤いのある美しいまちづくりを進めるため。			・500㎡以上3,000㎡未満の敷地に建築物を建てる場合の緑化指導・公園花壇や街路の花壇・フラワースタンドなどのボランティア活動支援・フラワーロードのスポンサー企業・団体の募集・苗木の配布、生け垣設置・屋上緑化等の補助		
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしましたか)			事業の成果【定性的評価】		
	・緑化指導及び緑化補助による宅地の緑化・緑化ボランティア活動支援による公共空間の緑化・事業資金に充てるため、フラワーロードスポンサー事業及び緑の羽根や環境みどり基金の募金活動を実施			宅地及び公共施設の緑化により、緑の美しい景観が創出された。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	緑化ボランティア活動団体数			指標・目標値の説明(算定式)	公園花壇やフラワーロードなどで草花の植替えや維持管理を行う団体数(基準:95団体)				
	単位	団体	指標の種別	結果		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標値	95.00		95.00	95.00	95.00	95.00	0.00		
	実績値・達成状況	92.00	未達成	90.00	未達成	83.00	未達成			
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標値									
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	8 款	4 項	7 目	2 細目	1 細々目	緑化推進事業				
年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度		令和4年度	令和5年度				
予算額(A)	20,387	19,772		12,843		25,126	0				
決算額(B)=(C)+(D)	12,626	12,651		12,234							
財源※	特定財源(C)	9,015	4,171		6,295		14,919				
	一般財源(D)	3,611	8,480		5,939		10,207				
概算人件費(E)	14,220	14,220		14,220		14,220	14,220				
従事職員人数(人)	常勤	再任用	1.80	0.00	1.80	0.00	1.80	0.00	1.80	0.00	
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	26,846	26,871		26,454		39,346	14,220				

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どりの成果	期待以下	11 /15
	市民との必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	改善の余地なし			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策		今後の実施方向性	
54 /60	ボランティアの高齢化により、活動の減少や団体数の減少が生じていることから、事業のPR活動を実施し活動への新規参加を促進した。引き続き、新規ボランティアの登録や効果的な活動につながるよう事業の周知・活動に対する支援を図っていく。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和3年度

事業名称	特定生産緑地地区指定検討事業			担当	都市計画部 みどり課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-242-5721	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	令和	元	年度	～	年度
第5次川口市総合計画	IV 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち”-1 豊かな水と緑に親しめる空間の創出-② 緑地環境の整備				
根拠法令等	生産緑地法				

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	生産緑地所有者、市民	生産緑地所有者、市民	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	生産緑地の当初指定から30年が経過する土地所有者に対して、今後も生産緑地制度を利用しながら営農を続けていくのかどうか、個別に申請受付を行なうとともに、土地活用に関する相談者に対して個別相談を実施し、土地所有者の意向を汲んだ手続きを円滑に進めていく。	特定生産緑地への指定申請書の送付、事前審査等を実施するとともに申請に係る支援を行う。また、土地利用に関する相談者に対して、個別相談を実施し、土地所有者の意向を汲んだアドバイス等を実施する。	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	特定生産緑地指定手続きに際して、申請書の送付、個別に相手方式で事前審査を実施し、今後の生産緑地地区の土地利用についての個別相談を設けるとともにコールセンターを設置し、制度や申請に係る質問に対応した。また、システム既存データの更新や申請者情報を取り入れた。	委託を活用しながら申請受付や個別相談を実施したことにより、土地所有者からの制度や申請に係る質問に円滑に対応することが出来た。結果として、所有者から指定手続きを進めることができた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位		指標の種別			
	目標値	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位		指標の種別			
	目標値	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	8 款	4 項	7 目	5 細目	1 細々目	特定生産緑地地区指定検討事業				
年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度		令和4年度	令和5年度				
予算額(A)	12,195	11,992		6,637		0	0				
決算額(B)=(C)+(D)	10,725	9,692		6,196							
財源※	特定財源(C)	0		0		0	0				
	一般財源(D)	10,725		9,692		6,196	0				
概算人件費(E)	31,600		31,600		31,600		0				
従事職員人数(人)	常勤	再任用	4.00	0.00	4.00	0.00	4.00	0.00	0.00	0.00	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	42,325		41,292		37,796		0				

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
56 /60	特定生産緑地の未申請者全員の意向を確認するとともに、意向確認漏れをなくす。	翌年度	他事業に統合されて実施
		翌々年度	他事業に統合されて実施